

# 人事制度からみる 奈良・平安時代

第1回 2020年8月27日(木)

日本律令制における勤務評定と昇進  
—唐・高麗の実態との比較を中心に—

第2回 2020年9月3日(木)

平安時代における官位・官職の昇進事由について



パベル・スミルノフ

ロシア・ウラジオストク生まれ

- › 極東連邦大学(旧極東国立総合技術大学)東洋言語学学科  
韓国語・英語翻訳翻訳論専攻卒業
- › 東京大学大学院人文社会系研究科韓国朝鮮文化研究専攻  
博士課程 満期退学  
朝鮮前近代史専門 日本史ゼミ及び勉強会において平安  
時代史を学んだ。

**13時30分～14時30分** (受付13時～)

(定員50名 無料 当日受付 先着順)

京都府立京都学・歴彩館 小ホール

主催: 京都府立京都学・歴彩館 共催: 京都府立大学

## 海外若手研究員による府民向けセミナー

京都府立京都学・歴彩館では、国内外からの幅広いアプローチにより京都文化の普遍的な価値を研究発信するため、世界の大学・研究機関から日本研究・京都研究の優秀な若手研究者を京都学研究者として2017年度より招へいしています。外国人研究者が、ひと味違う独特の視点で掘り下げた内容を府民の皆様に向け発表します。

### 第1回(8月27日) 要旨

日本律令制において官人の勤務評価はいかに行われていたか、官人はどのような昇進コースを辿っていたのか。唐代(618~907年)・高麗代(918~1392年)における人事実態との比較により、その実態と特質を明らかにする。

### 第2回(9月3日)要旨

日本律令制の変質に伴い、年官(公卿などに認められた官職の申任権)・勸賞(功績を賞し官位を与えること)、辞官申任(官人が官職を辞任して、その代償として子弟の任官を申請し実現させること)などによる官位・官職の昇進は現れつつあった。これらの昇進事由について発表し、併せて報告者の研究テーマである辞官申任に関する中間的成果を紹介したい。

### << アクセス >>



●ご来場には、地下鉄・バス等の公共交通機関をご利用ください。

- ▶ JR・近鉄京都駅、阪急烏丸駅から  
京都市営地下鉄 烏丸線「北山駅」下車 (①出口)  
南へ徒歩約4分
- ▶ 京都出町柳駅から  
京都市バス1  
府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分
- ▶ JR二条駅から  
京都市バス206  
府立大学前(北大路通)下車 北へ徒歩約6分

### << 京都学・歴彩館からのお知らせ >>

当館では、新型コロナウイルス感染予防対策を行っております。今後の状況により予定を変更する場合がございますのでご了承ください。またご来館の皆様にはマスクの着用(ご持参)等について、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

問合せ: 京都学・歴彩館 京都学推進課 075-723-4835  
休館日: 第2水曜日、祝日